

## 帝京大学医学部附属病院における医療連携 —患者そして家族と共にあゆむ医療—

帝京大学医学部附属病院 医療連携・相談部部長，外科学講座教授  
佐野圭二

### はじめに

帝京大学医学部附属病院は、昭和46年9月に開院し、平成21年5月に現在の新病院棟に移転し、3年目となる本年度は創立40周年の記念すべき年であります。新病院棟は免震構造に優れ、ベッド数は1,154床、一日の外来患者数約1,800名、さらに救急患者年間約26,000名を随時受け入れております（図1）。「努力をすべての基とし偏見を排し、幅広い知識を身につけ、国際的視野に立つて判断ができ、実学を通して創造力および人間味豊かな、専門性ある人材の養成を目的とする」という建学の精神に基づき、「患者そして家族と共にあゆむ医療」がモットーです。具体的には、①安心安全な高度の医療の提供、②患者中心の医療の提供、③地域への貢献、④医療人の育成、の4つの目標を達成すべく各部署一丸となって取り組んでおります。昨年从中込忠好新病院長となり、「患者そして家族と共にあゆむ医療」をさらに徹底して行うべく、昨年度までの「総合相談部」から今年度より「医療連携・相談部」と名を改め、「安全管理部」「感染制御部」とならんで病院長直属の部署として配属し、病診・病病連携をさらに強化しています。

情報の提供・共有をさらに強化！

—医療連携室—

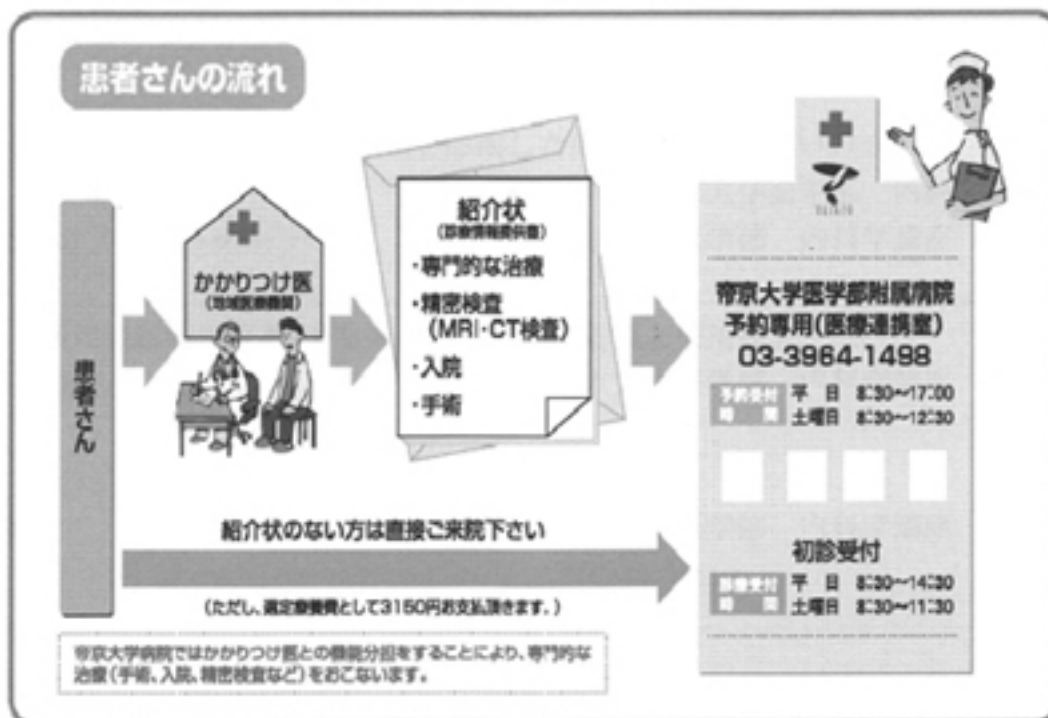
医療連携。相談部の中の「医療連携室」の最大の役割のひとつに、地域の医療機関や患者そして家族に、より多くの情報を提供することを考えて

おります。そのために、年1回の「帝京大学医療連携セミナー」、月1回の「帝京がんセミナー」などの医療従事者向けの講演会主催をはじめとして、地域住民の疾病予防および健康増進を目的とした近隣医師会や行政との共催。後援による市民フォーラムなども積極的に企画。開催しています。また医療連携だより「ASSIST」を発行して地域の医療機関に配布しているのみならず、医療情報部と連携してホームページで最新治療の情報や講演会情報を提供しています（<http://www.teikyoo-u.ac.jp/hospital1/index.html>）。院内では、地域医療連携委員会を組織して各科医師・看護師・事務あわせて総勢32人が一堂に会して、定期的な情報の共有と問題点のフィードバックを行っております。特にがん診療に関しては、地域がん診療連携拠点病院として地域医療機関との機能分担をスムーズに行うため、帝京がんセンターと共同してがん診療連携拠点病院運営委員会を組織し運営に参加、その中に院内がん登録チーム（医療情報部）やがん相談支援室（福祉医療相談室・看護相談室）など各専門チームを構成しています。さらに東京都がん診療連携クリティカルパス部会小委員会の各委員を中心に地域の医療機関とともにがん患者をフォローアップするシステムを整備、さらに地域医療機関への逆紹介を推進しております。もちろん全疾患を通じて紹介状持参初診患者に対しては事前に情報収集と電話予約とを行い、当日できるだけスムーズに診察が行われるように手配し、即お返事を郵送するよう徹底しております（図2）。



図 1

帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約ができます。  
 なお、紹介状のない方は直接ご来院下さい。\*前日までにお電話下さい



**紹介状をお持ちの患者さん**

- 1、予約電話 (03-3964-1498) までお電話下さい。  
 電話予約の際にご確認させていただく項目  
 (お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- 2、予約完了
- 3、当日は 15 分前までに初診受付までお越し下さい。

**紹介状をお持ちでない患者さん**

- 初診受付  
 診察受付時間 平日 8:30 ~ 14:30  
 土曜日 8:30 ~ 11:30  
 直接初診受付へお越し下さい。

図 2

常駐看護師の増員と「夜間がん相談窓口」の開設!

－看護相談室・医療福祉相談室－

医療連携・相談部において「看護相談室」では、①在宅療養相談・看護指導、②受診相談、③精神的援助（患者・家族）、④他の医療機関との連携、を目的としています。さらに「医療福祉相談室」の 5 人のソーシャルワーカーが看護相談室をサポートしつつ、またソーシャルワーカーが中心となって経済的問題の解決・調整援助や退院。社会復帰の援助を行つています。昨年度実績としては毎月約 400 件の相談を受けており、うち患者からの相談が約 3 割、家族からの相談が約 4 割で、約半数が在宅医療や地域医療機関紹介などの相談でした。それに加えて、今年度から常駐看護師数を 3 名から 5 名に増員して機能をさらに充実させ、

担当医と地域医療機関との緻密な打ち合わせを仲介しつつ、速やかでかつスムーズな在宅療養の実現や他院の受診の調整など業務を遂行しています。特にこの度新たに「患者そして家族」の希望に応えるべく、月曜日と金曜日の週 2 回、21 時まで「夜間がん相談窓口」も開設いたしました（平成 23 年 5 月 2 日から）。

おわりに

創立 40 周年の今年、帝京大学医学部附属病院の病診連携は変わります。今まで以上に地域の医療機関と密接に交流することにより、当院と地域医療機関との双方の病院機能を最大限生かせるような、相互的・有機的な病診連携を構築していきます。今後とも関係各位の皆様方のご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。